不知火っ子だより 第１１号

平成 29 年 2 月 15 日　文責　校長 吉永博美

ボランティアのみなさんありがとうございます！

今年度も、学校応援団として、次のようなボランティア活動に多くの皆様にお世話になりました。

★**登下校の見守り活動**・・・毎日欠かさず子どもたちが安全に登下校できるよう見守っていただいています。

★**○付けボランティア**・・・１ヵ月に１・２回程度低学年の学力充実タイムで○付けをしていただいています。

★**読み聞かせ**・・・朝自習の時間に週１回程度、各クラスに入って読み聞かせをしていただいています。

★**クラブ活動の指導**・・・グランドゴルフ、スポーツ、押し花、絵手紙、将棋、料理、芸術、伝統文化、などの４年生以上のクラブ活動に指導者としておいでいただきました

★**しあわせふるさと祭りの体験活動における講師**・・・年に一度全校で取り組む、しあわせふるさと祭りではエアロビクス、英会話、つり、料理、絵手紙、ものづくり等様々な体験活動の講師をしていただきました。

★**授業におけるゲストティーチャー**・・・消防団、福祉協議会、学校薬剤師さん、トマト・みかん等の栽培農家のみなさんなどに、授業の中でお話をしていただきました。戦争体験、干拓の歴史についても地域の方々から貴重な話を聞かせていただきました。

★**その他体験活動や授業の支援等**・・・米づくり、いもづくりデコポン栽培など児童の体験活動に協力していただいたり、低学年の書写や図工、高学年の調理やミシンを扱う授業等の支援もしていただきました。

＜低学年の体験活動　いも苗植え＞

年間で延べ２０００人くらいの皆さんにお世話になり、子どもたちの安全や豊かな学び、貴重な体験を支えていただいています。これらの活動の実現は二人の地域教育コーディネーター（田上美智子さん、甲斐高子さん）の力によるところが大きく、地域のボランティアのみなさんと学校をつないでいただいています。

このような活動を通して、子どもたちが、地域に大事にされているということへの感謝の気持ちと、ふるさとを誇りに思う気持ちを育むことにつながっていると思います。不知火小の素晴らしい伝統です。これからも地域の皆さんと連携しながら「ひとみ輝く不知火っ子」を育んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

今年度も残りわずか！「終わりよければすべてよし」
今の学年でつけるべき力をしっかりつけましょう。

本日・明日（15・16 日）は、学力テストです。この１年の学習の定着の度合いをみて、今後の指導に生かしていきます。現在の学年でつけるべき力をしっかりつけることが、次の学年への円滑な接続につながります。家庭でも次の学年を見据えて、家庭学習や基本的生活の習慣づくりに取り組んでいただきますようお願いします。

学校ホームページには子どもたちの様子等を随時掲載しています。どうぞご覧ください。